

川崎異業種研究会（以下略称川異研）は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で25年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

## 2月定例会

平成24年2月9日(木)午後1時30分より、県内視察会を米海軍横須賀基地にて、参加者11名を得て開催。当日は、京浜急行横須賀中央駅に集合し、貸し切りバスで移動。三笠ゲートに到着後、身分証明の厳しいチェックを受け、基地内に入った。バスの中から基地内や施設の外観を、原子力空母ジョージ・ワシントンに乗船して艦艇内を見学した。ジョージ・ワシントンの副長や通訳の方から、施設の歴史や概要、戦闘機離発着の様子などの説明を受けた。映像や、ユーモアも交えて楽しく解説していただき、参加者にとって有意義な視察会となった。その後、場所を移し、和やかな雰囲気での懇親会を開催した。



## 2月分科会

平成24年2月1日(水)午後6時30分より、中原市民館会議室にて、会員11名、体験希望者1名、学生3名の参加を得て開催。今回は、CSRコンサルタントとして、啓蒙活動、官公庁や企業の経営コンサルティング、産学官連携のマネジメントなど幅広い分野でご活躍されている允治社、代表社員の泉貴嗣様を講師に迎え、企業経営者として考えるべき「企業の社会的責任(CSR)とは？」をテーマに、ご教示頂きました。雇用を生み出す、納税するというのも企業の社会的責任ですが、現代的な企業の社会的責任はより広範囲に及んでおり、省エネ活動、二酸化炭素排出量やゴミの削減など法律で規制されていない部分でも積極的に対策を講じることや、市民活動支援や地域文化振興などへの取り組みも含まれるなど、企業を取り巻くあらゆる環境に対して責任ある関係を構築する必要があることを知りました。こうしたCSR活動はグ

ローバル化著しい経済社会を生き抜くために不可欠な経営戦略の一つで、どんな企業でも取り組むべきものである。早速できることから実行していきたいと思えます。(副会長 小林猛久氏の報告書より抜粋)



加入のお問い合わせは

事務局：多摩麻生支所 TEL 044-932-1100